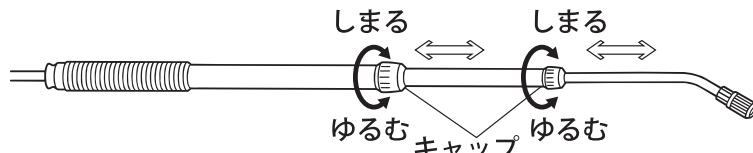


つかいかた

① ノズルを調整します

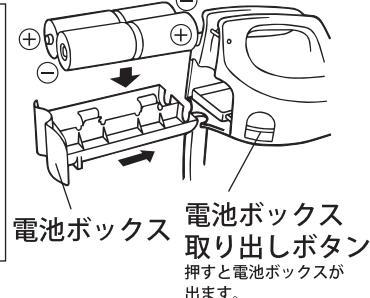
●キャップをゆるめるとノズルの長さは43~100cmまで自由に調節できます。



② 電池を入れます

●電池ケース取り出しボタンを押して、電池ケースを取り出し、電池を入れてください。

△ 注意
乾電池の+(プラス)、-(マイナス)は、正しく入れてください。次のような乾電池の組合せでの使用はしないでください。使用後は必ず乾電池を抜いて保管してください。
●充電電池・アルカリ電池・マンガン電池の混用
●メーカー違いの電池の混用
●新しい電池と古い電池の混用



③ 薬剤を入れます

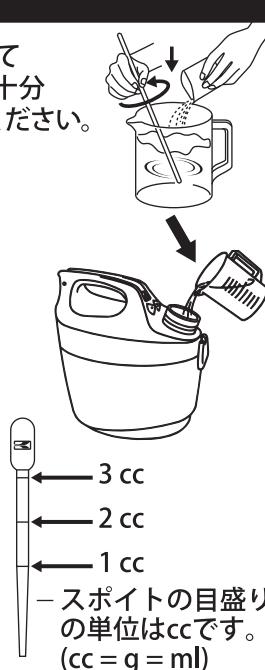
●別の容器で、薬剤を水に十分溶かしてからタンクに入れてください。特に石灰硫黄合剤・水和剤は、溶かし方が不十分ですとポンプの性能に悪影響を及ぼしますのでご注意ください。

△ 注意
薬液は規定容量以上入れないでください。
前回使用した薬剤が残っていないか確認してください。化学反応を起こし、有毒ガスが発生する危険があります。

●溶かす薬剤のめやす

水	薬剤 (ccまたはg)		
	500倍にうすめるとき	1,000倍にうすめるとき	2,000倍にうすめるとき
1L	2cc	1cc	0.5cc
2L	4cc	2cc	1.0cc
3L	6cc	3cc	1.5cc
4L	8cc	4cc	2.0cc
5L	10cc	5cc	2.5cc

5



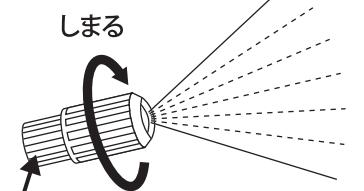
④ 敷布します

●本体のスイッチを「入」にすると散布します。



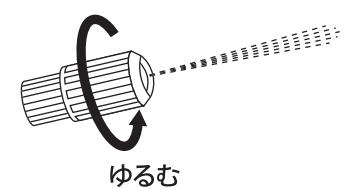
霧の調整方法

広範囲に散布するとき



この部分を指で押さえ噴口をまわす

遠くへ飛ばすとき



散布の際は薬液が対象物以外にかかるないように風向きや周囲の状況に十分注意してください。

△ 注意 ご使用途中で運転を止め、置いておく場合はノズルの先端をタンクより上にしてください。(液漏れ防止)

余った薬液をタンクに入れたまま長時間放置しないでください。各部品が痛み、製品寿命が短くなります。

⑤ スイッチを切ります

本体のスイッチを「入」と「洗浄」の間に合わせると、停止します。



6

使用後のお手入れ

△ 注意

使用後は**必ず以下の方法で【洗浄】を行ってください。**

【洗浄】を実施せずに故障した場合は、保証期間中でも保証の対象外になります。

1. ご使用後はスイッチを【洗浄】側にして約10秒運転してください。
(ポンプが逆回転して、ホース・ポンプ内の薬液をタンクに戻すことができます。)
【洗浄】を実施しないとポンプ内に薬剤がたまり故障の原因となります。



2. きれいな水でタンクとキャップを十分洗浄し、本体の水分をふきとてください。
3. 箱などに入れ直射日光や雨水を避けて保管してください。



1週間以上使用されない場合及び石灰硫黄合剤・水和剤をご使用の場合

上記の【洗浄】をした後、下記の方法でポンプ及びノズル内をしっかりと水洗いしてください。
固着、ノズル詰まりの原因となります。



長期間ご使用にならない場合

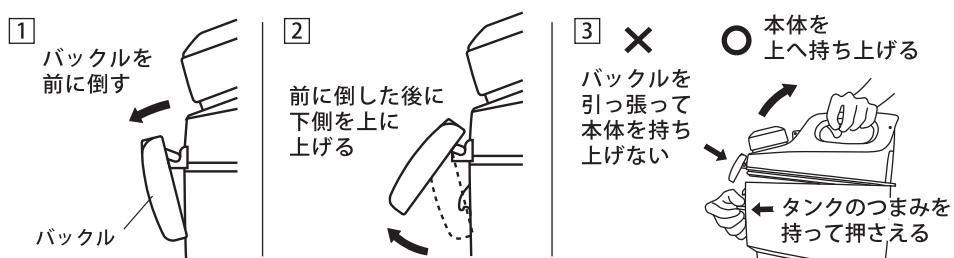
上記の方法で水洗いした後、電池の液漏れ防止のため、電池を抜いて保管してください。

△ 注意

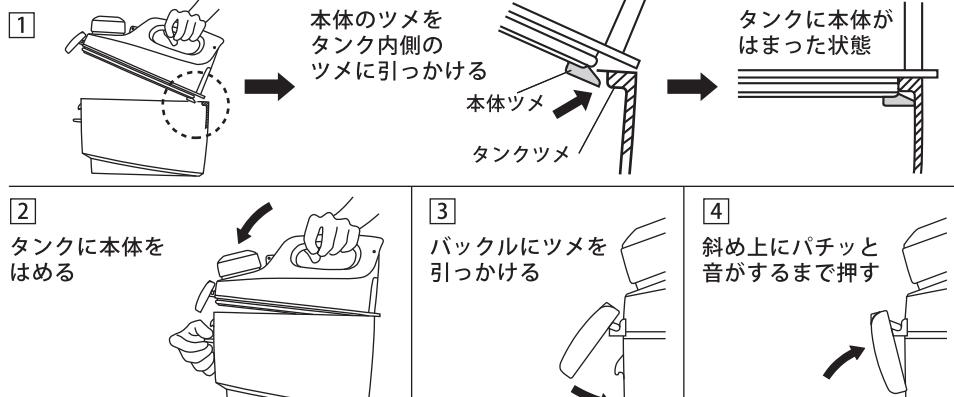
タンク、ポンプ及びノズル内の薬液を完全に抜いてから保管してください。
薬液が固まつたり、凍結し故障の原因となります。また、タンクがノズルより上にある場合、残った薬液がノズルから溢れ出ることがあります。(サイホン現象)

本体には水をかけないでください。故障の原因となります。

タンクの外し方



タンクのはめ方



オプションパーツ

パーツはお買い上げの販売店を通じてご注文いただけます。部品番号、部品名を確認の上、販売店にご依頼ください。

又、下記に記載のない部品も弊社ホームページよりパート表、価格をご覧いただけます。

工進ホームページ <http://www.koshin-ltd.co.jp>

〈別売パーツ〉

	商品名	機種名
	噴霧・直射切替 GT一頭口噴口 (M8)	PA-326 [JAN]4971770-500235
	GTタンクキャップクミ(黄色)	PA-329 [JAN]4971770-102774